

令和5年度富山市交通安全対策協議会合同部会 議事概要

1 日 時 令和6年2月19日（月） 午後2時～3時00分

2 場 所 富山市役所 東館8階 大会議室

3 出席者 委 員：別紙出席者名簿のとおり

事務局：浅野防災危機管理部次長、廣瀬生活安全交通課長、西野生活安全交通課主幹、坂田生活安全交通課主幹、柴野生活安全交通課長代理

4 内 容

(1) 林交通安全教育部会長 挨拶

(2) 議事

報告案件

① 令和5年中の富山市の交通事故状況について（中央警察署交通官が説明）

議 題

① 令和6年度富山市交通安全推進計画（案）について

② 令和6年度における富山市交通安全活動（案）について

会議の様子



(3) 主な質疑等

【後付けの安全運転支援装置の普及・啓発について】

委員：市の高齢者安全運転支援装置設置促進事業は令和6年度も継続するというのでよろしいか。

事務局：予算編成の段階のため回答は出来ないが、継続することになれば、皆さんに周知を依頼したい。

【「8 関係機関・団体の主な活動」について】

委員：報道機関の中にケーブルテレビ局の記載は出来ないか？

事務局：ケーブルテレビでも交通安全や防犯など様々な番組を放送されており、対応はしておられるものと思っている。記載について、改善できるか確認したい。

【高齢者等への支援について】

委員：高齢者安全運転支援装置設置促進事業によってサポカーの後付けの購入率が増えたのか。また、事業を終了した運転免許を自主返納した方への支援について代替案はあるのかを教えてください。

事務局：購入台数は把握していないが、交通安全教室などで導入のきっかけとしてサポカーの情報を提供している。また、サポカーへの買い替えまでは考えていない方に向けて、後付け装置の補助を行っている。

自主返納支援は、自主返納制度の周知のために開始したものである。その後、周知が進んだことや様々な制度や補助が充実したということで廃止している。これにダイレクトに繋がるような支援の制度は、今現在、考えていないところである。その代わり、どうしても車に乗る必要がある、だけれども買い替えるわけにもいかないという方向けに、後付けの補助制度に取り組んでいるところである。

【自転車用ヘルメットと特定小型原動機付自転車について】

委員：令和5年からヘルメットの着用が努力義務となり、高校生以上の着用率が低いという中で、どうやって被っていただくかということで、市のほうで補助的なものを考えるという話題があったと思うがその点に何かあったのか。

また、特定小型原付について、県警としても今懸念しているのが、外国人の方がインターネットで購入して、日本の道路で乗れるものだと思いき無免許で捕まってしまうという事案がよく発生している。販売業者と連携した中で具体的にどういう風に指導していくかを教えてください。

事務局：ヘルメットについては、今現在、補助は考えていない。ヘルメットの利点を皆さんに理解していただいた上で、被っていただくという取り組

みが必要ではないかと思っている。去年から実施している啓発活動も、決して手を緩めることなく、引き続き実施したいと思っている。

特定小型原付について、制度を周知するため、市の広報誌やテレビ・ラジオによる広報を実施している。また、外国人に向けた交通安全啓発活動として、外国人技能実習生を対象とした、交通安全の出前講座を実施している。今までは基本的な交通安全の内容を伝えていたが、去年からはヘルメットの周知もしており、可能な限り電動キックボードの話も考えなければいけないと思っている。販売業者と連携した、というところについては、富山市でナンバープレートを発行する際に、特定小型原付の交通ルールなどが記載されたリーフレットを業者にお渡しして、周知・啓発をお願いしているところである。これについては、定着するまでしばらく続ける予定である。

委員：質問ではないが、今年あった取り組みを紹介する。堀川中学校が、自由なヘルメットの着用を認める取り組みをしている。そのまま続けていけば高校生になっても被るのではないかと、いかにヘルメットは当たり前で、なおかつおしゃれだし、被ってもいいというようなことで、素晴らしい取り組みだなと思っている。ここは教育委員会の場ではないが、中学校、高校のほうからも、そういうようなヘルメットを積極的に被るような姿勢が続いていけば、いずれは大人になってもヘルメットを被るのではないかと思うので、参考に披露させていただく。

【ドライブレコーダーの普及・促進について】

委員：ドライブレコーダーの普及・促進とあるが、補助金の実施は予定しているのか？

事務局：補助は考えておらず、広報による普及促進を実施する。

【幼児交通安全教室について】

委員：毎年、幼児の交通安全教室をしていただいて、大変ありがたいと感じている。八尾の田んぼの真ん中にあり、周りに横断歩道も信号もあまりなく、子供たちも色んなところに住んでいるが、やはり指導員の方にご指導いただいて、また工夫していただいて、劇の実施や説明の仕方も優しくしてくださって、本当にありがたいと感じている。来年度も続けていただけるということで、よろしくお願ひしたいと思う。

※ 令和6年度における富山市交通安全活動（案）は、了承された。

なお、令和6年度富山市交通安全推進計画（案）については、委員から頂いたご意見や、県交通安全推進計画をふまえ修正し、作成することを前提として了承された。

※ 発言内容を一部整理して掲載しています。